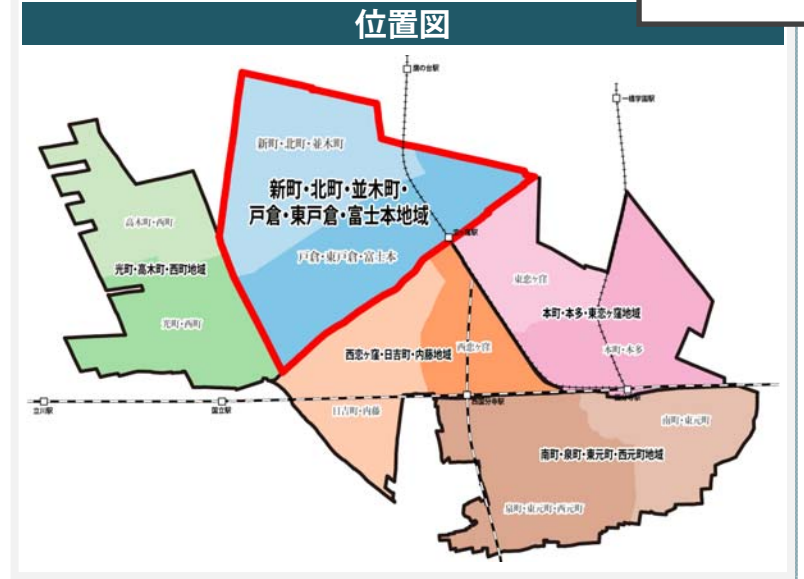


地域  
新町・北町・  
並木町・戸倉・  
東戸倉・富士本

<地域の概要>

- 本地域は、国立駅と恋ヶ窪駅の間に位置する市北部の地域です。
- 地域内の大半を低層戸建て住宅と農地が占め、特に農地は、市内でも規模の大きな農地が連担しています。
- 五日市街道沿道や恋ヶ窪駅周辺には、商業施設が立地しています。



1. 地域の特徴

基礎情報				
		地域		
		市全域	市全域に対する割合	
面積	(ha)	1,148	308	26.8%
市全体人口	(人)	平成 15 年	平成 20 年	平成 25 年
人口	(人)	111,121	114,936	118,035
人口密度	(人/k㎡)	7,981	8,156	8,360
人口割合	(%)	22.1	21.9	21.8
世帯数	(世帯)	10,018	10,427	11,002
世帯人員	(人/世帯)	2.5	2.4	2.3

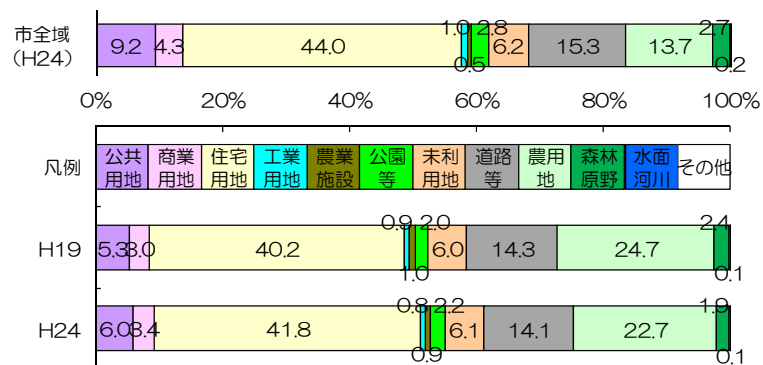
資料：住民基本台帳（各年 1 月現在）

**土地利用**

● 本地域の土地利用は、住宅用地と農用地（農地・採草放牧地）が多くを占めます。

● 農用地は市全体の割合よりも非常に大きいですが、近年では減少傾向にあり、一方で住宅用地が増加傾向にあります。

● 商業用地は市全体の割合と比べて少ないです。

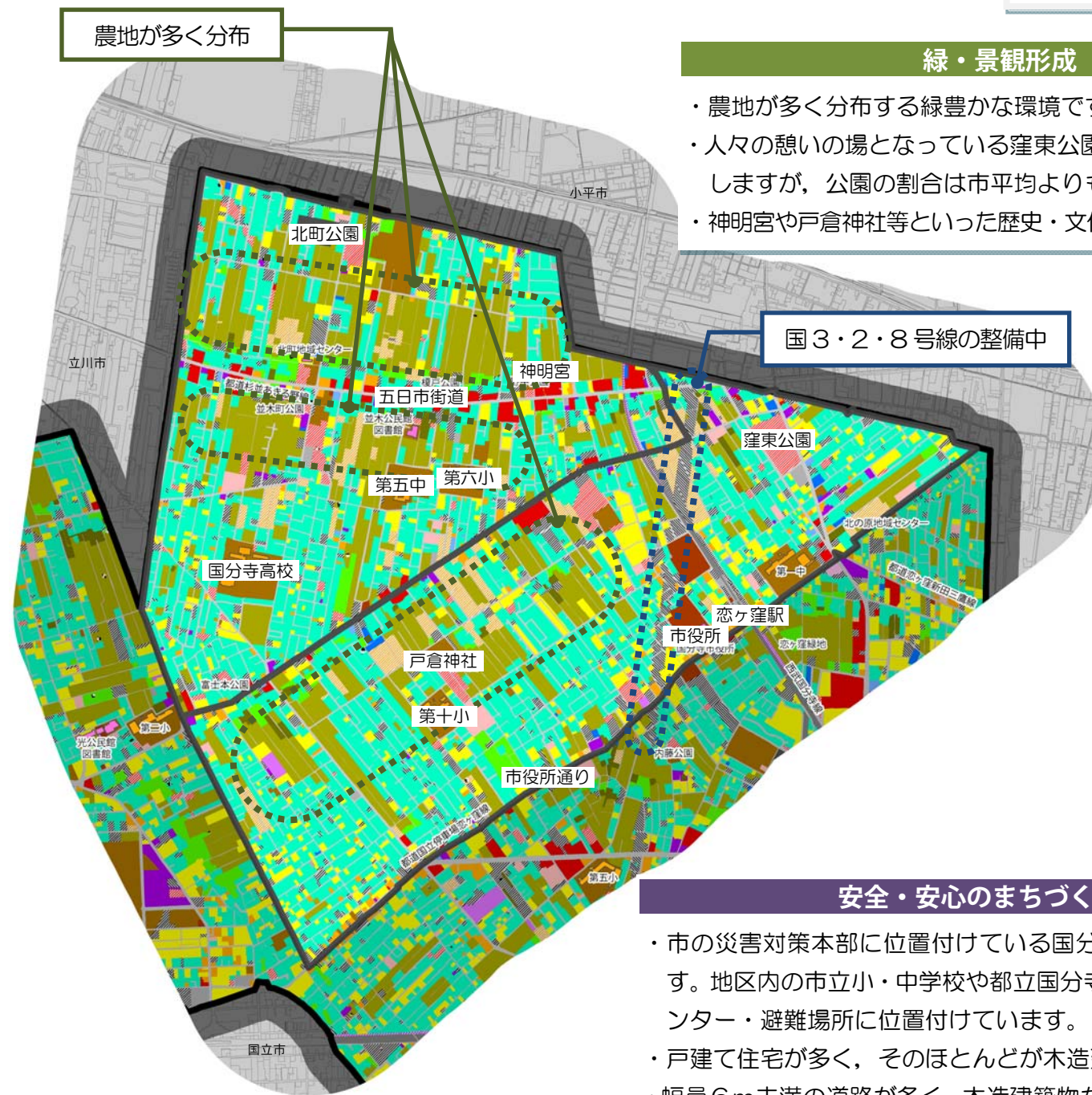


資料：土地利用現況調査

**道路・交通基盤**

● 地域内道路の約7割が幅員6m未満となっており、狭い道路が非常に多いです。

● 幹線道路（都市計画道路）の整備も進んでおらず、歩行者や自転車が安全に通行できる空間が少ないです。



緑・景観形成

- 農地が多く分布する緑豊かな環境です。
- 人々の憩いの場となっている窪東公園や北町公園等が位置しますが、公園の割合は市平均よりも低いです。
- 神明宮や戸倉神社等といった歴史・文化資源が位置します。

国3・2・8号線の整備中

安全・安心のまちづくり

- 市の災害対策本部に位置付けている国分寺市役所が位置します。地区内の市立小・中学校や都立国分寺高校は、地区防災センター・避難場所に位置付けています。
- 戸建て住宅が多く、そのほとんどが木造建築物です。
- 幅員6m未満の道路が多く、木造建築物が比較的多いエリアが多いです。

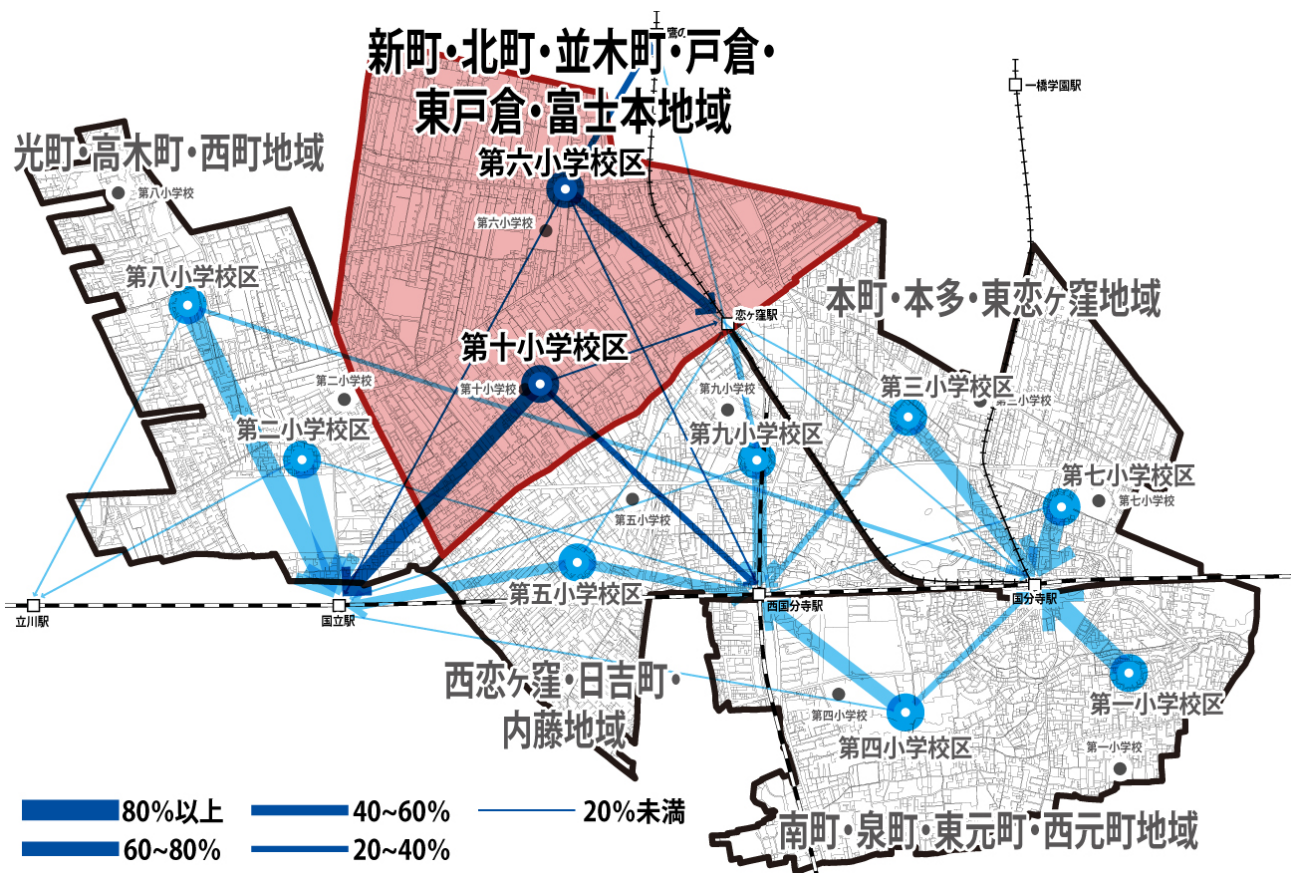




## 2. 市民意識調査結果

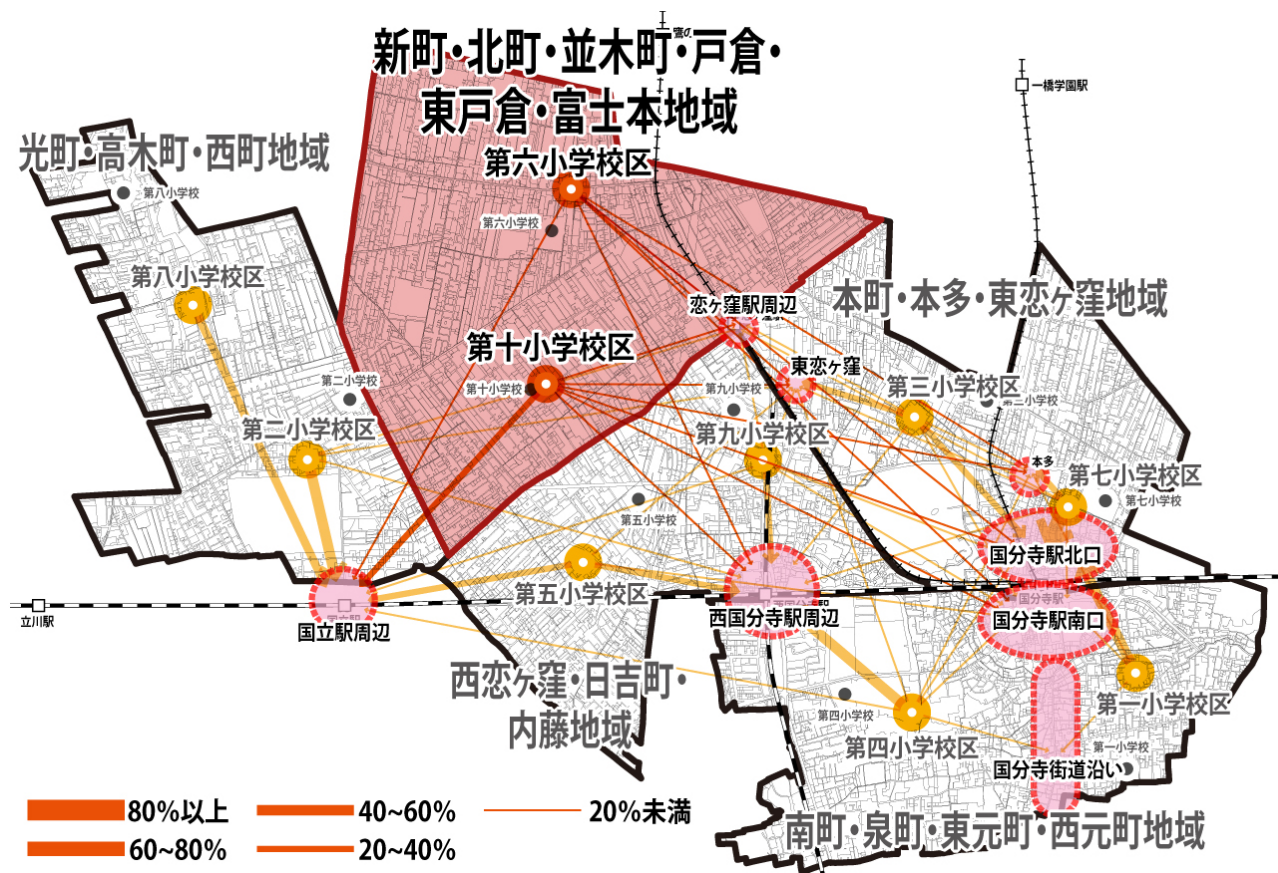
### 通勤時の駅利用状況

○本地域の通勤・通学に利用されている駅は、第六小学校区においては恋ヶ窪駅が多く、第十小学校区では国立駅が多いです。



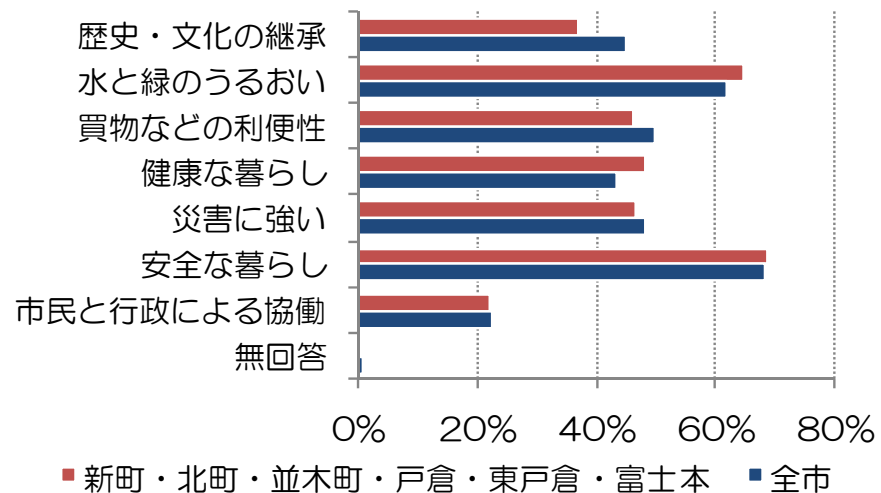
### 日常的な買い物先の状況

○本地域で日常的な買い物先は分散しており、様々な場所を利用しています。  
○第十小学校区では、国立駅周辺を利用する人が他の場所よりも多い傾向があります。



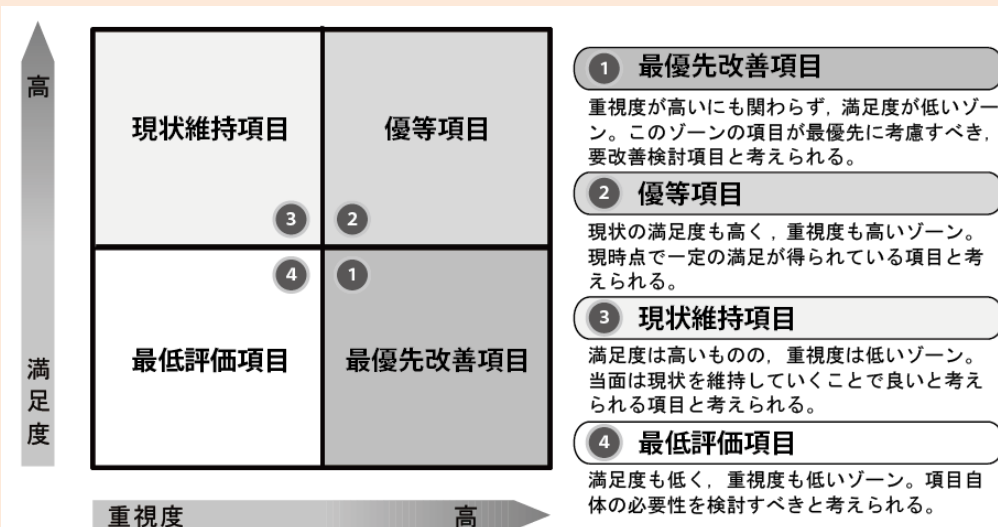
### 目指すまちのすがたとして重視すべきキーワード

○重視すべきキーワードは、「安全な暮らし」、「水と緑のうるおい」が上位の項目です。  
○全市と比較すると、同様の傾向を示しているものの、「健康な暮らし」は全市の割合よりも高い傾向にあり、「歴史・文化の継承」については低い傾向にあります。



### 満足度・重視度調査結果の見方（次頁）

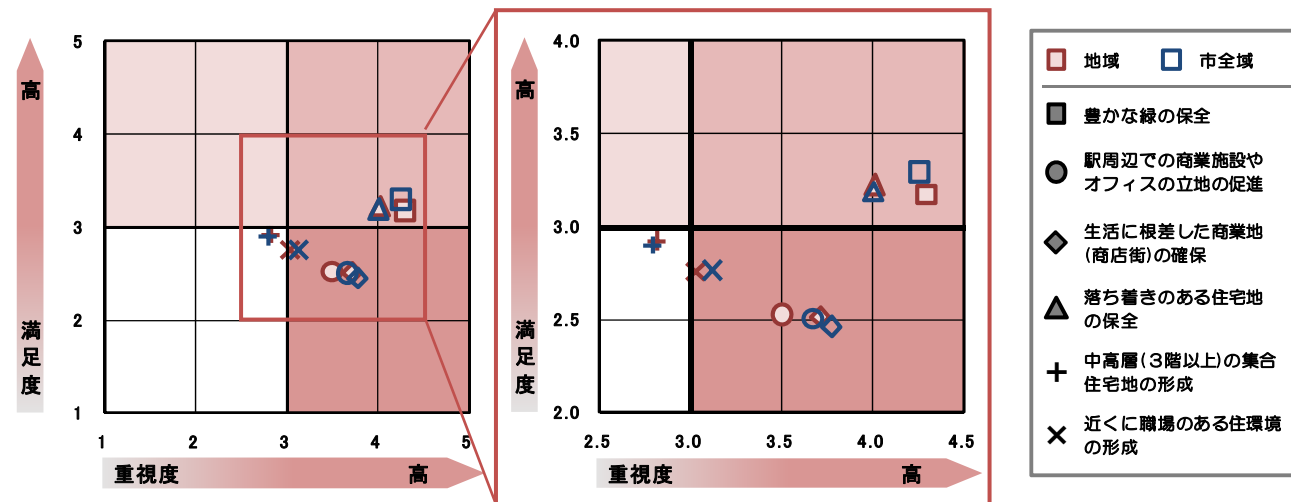
○次頁で整理している各分野のまちづくりに対する満足度・重視度調査では、それらの結果を掛け合わせることで、改善点の抽出を行ない、改善施策立案・優先順位付けのための分析を実施しています。



## 分野別まちづくりの満足度・重視度

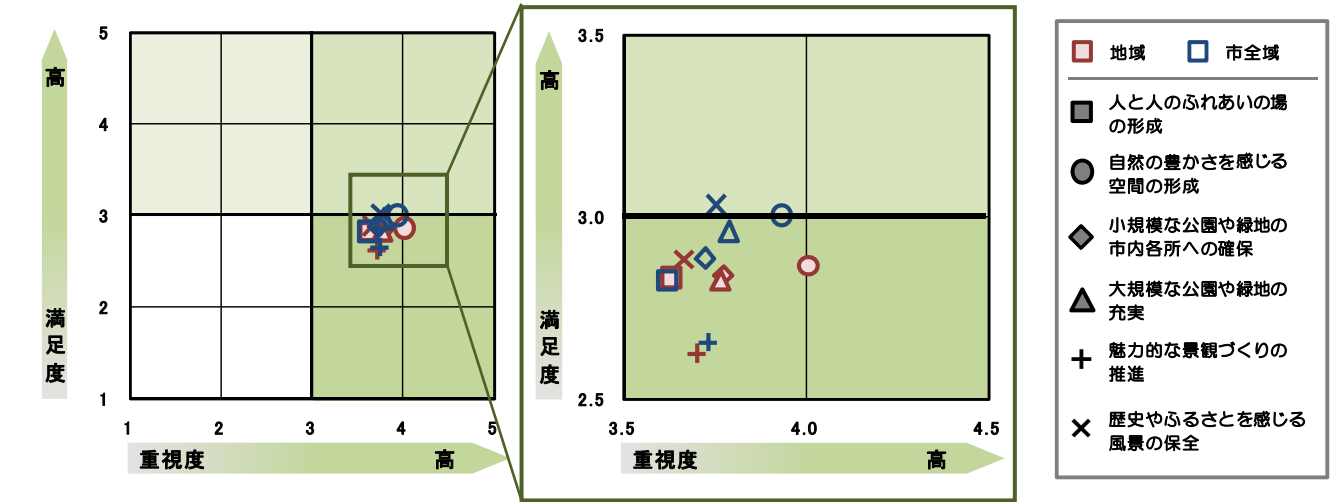
### 土地利用

- 本地域では、「近くに職場のある住環境の形成」、「駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進」、「生活に根差した商業地（商店街）の確保」が最優先改善項目です。
- 重視度が最も高いのは、「豊かな緑の保全」、次いで「落ち着いた住宅地の保全」、「生活に根差した商業地（商店街）の確保」という順です。



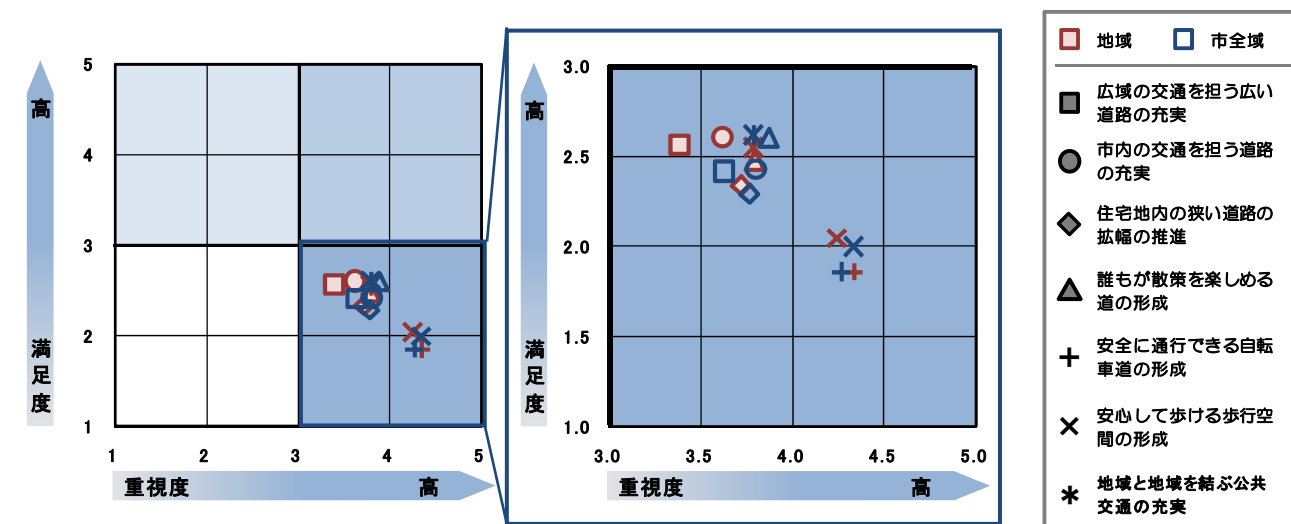
### 緑・景観形成

- 本地域では、全項目が最優先改善項目です。
- 重視度が最も高いのは、「自然の豊かさを感じる空間の形成」、次いで「小規模な公園や緑地の市内各所への確保」、「大規模な公園や緑地の充実」が同じ値となっており、「魅力的な景観づくりの推進」が続いています。



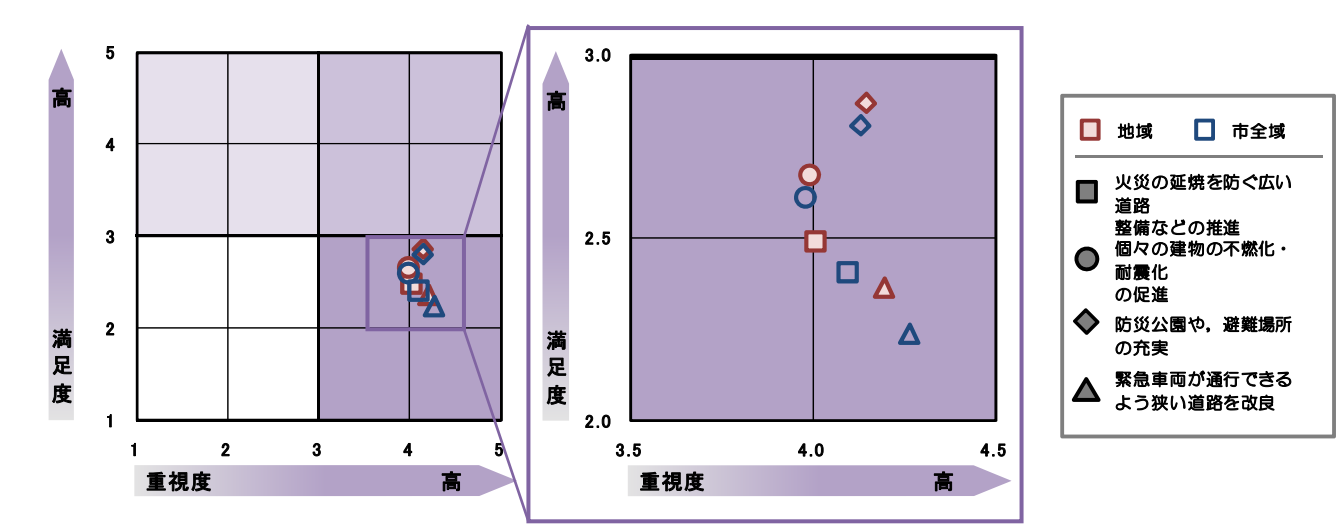
### 道路・交通基盤

- 本地域では、全項目が最優先改善項目です。
- 重視度が最も高いのは、「安全に通行できる自転車道の形成」、次いで「安心して歩ける歩行空間の形成」、「誰もが散策を楽しめる道の形成」という順です。「地域と地域を結ぶ公共交通の充実」についても「誰もが散策を楽しめる道の形成」と同程度の値です。



### 安全・安心

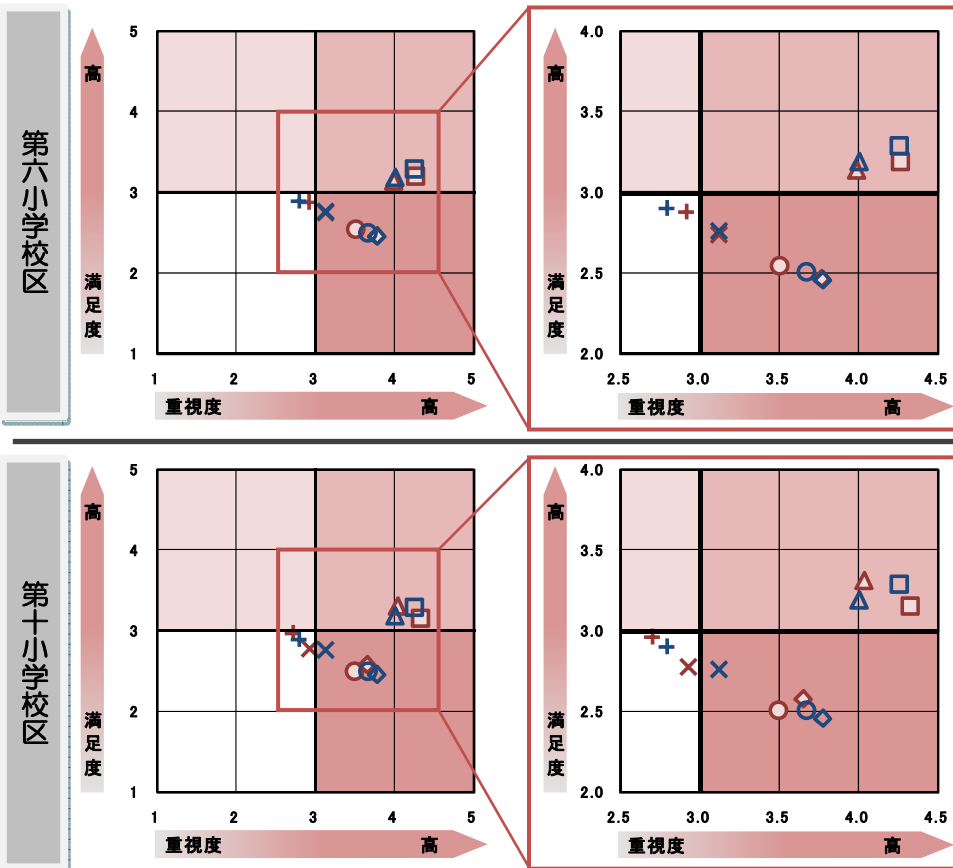
- 本地域では、全項目が最優先改善項目です。
- 重視度が最も高いのは、「緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良」、次いで「防災公園や、避難場所の充実」、「火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進」という順です。他にも「個々の建物の不燃化・耐震化の促進」は「火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進」と同程度の値です。





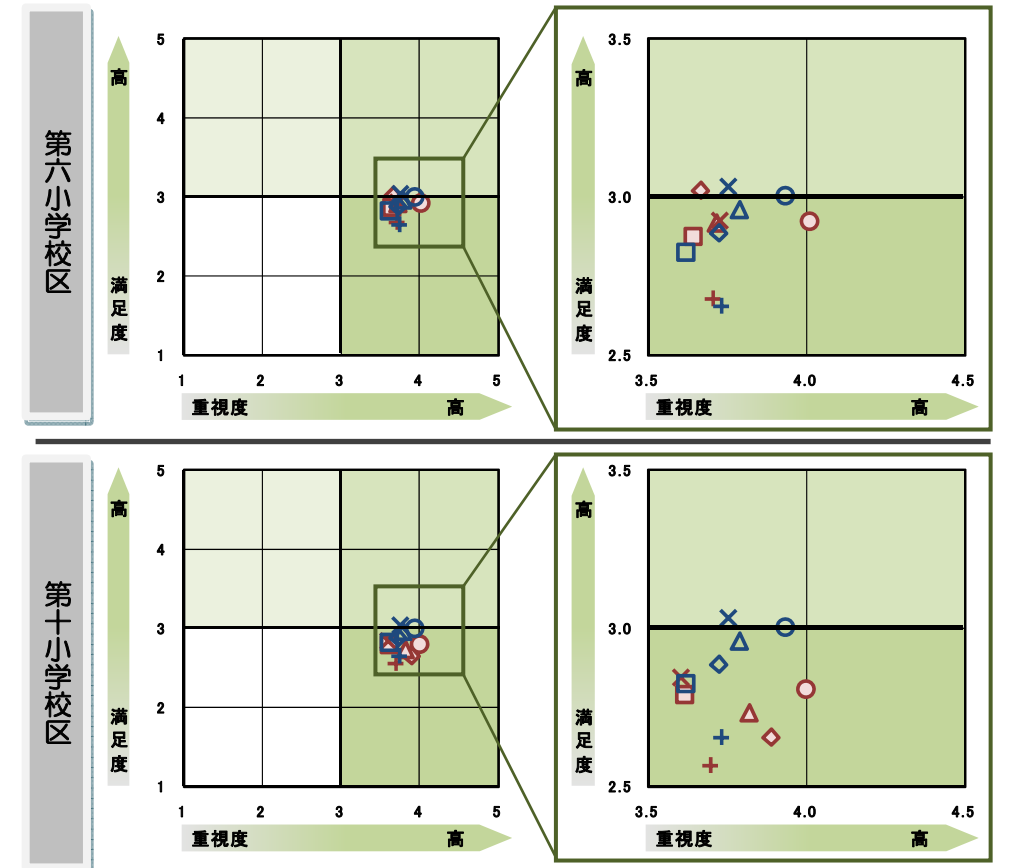
土地利用

- 地域   □ 市全域
- 豊かな緑の保全
- 駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進
- ◆ 生活に根差した商業地(商店街)の確保
- ▲ 落ち着いたある住宅地の保全
- +
- ×



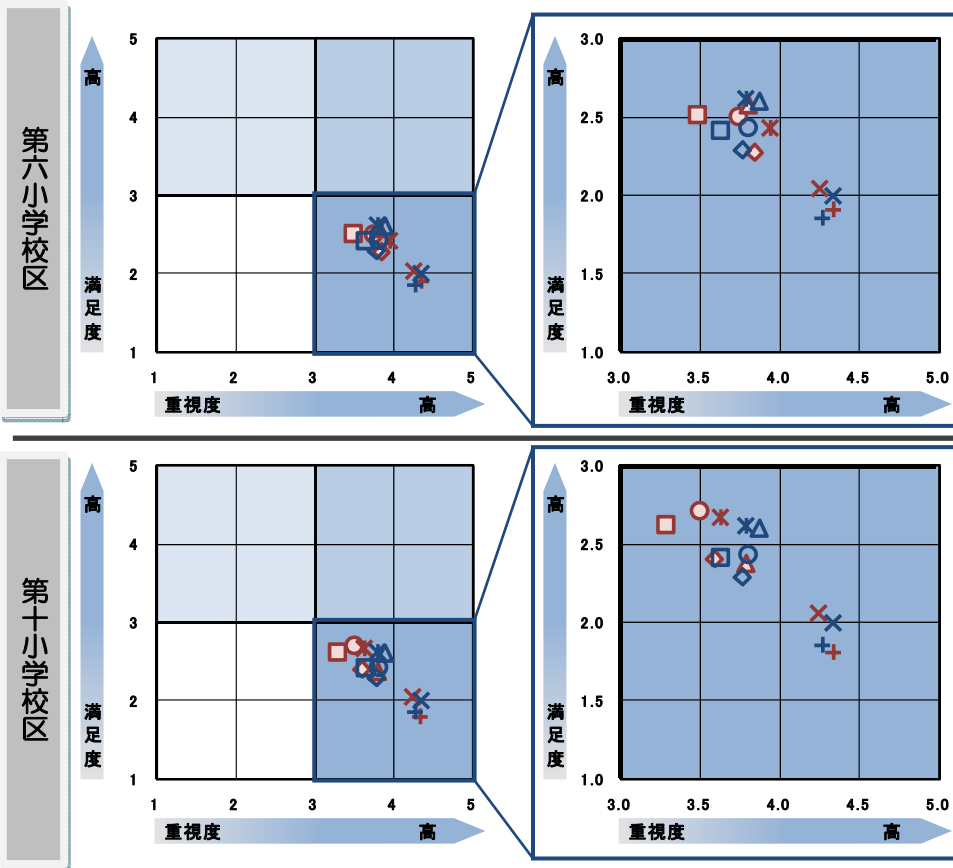
緑・景観形成

- 地域   □ 市全域
- 人と人のふれあいの場の形成
- 自然の豊かさを感じる空間の形成
- ◆ 小規模な公園や緑地の市内各所への確保
- ▲ 大規模な公園や緑地の充実
- +
- ×



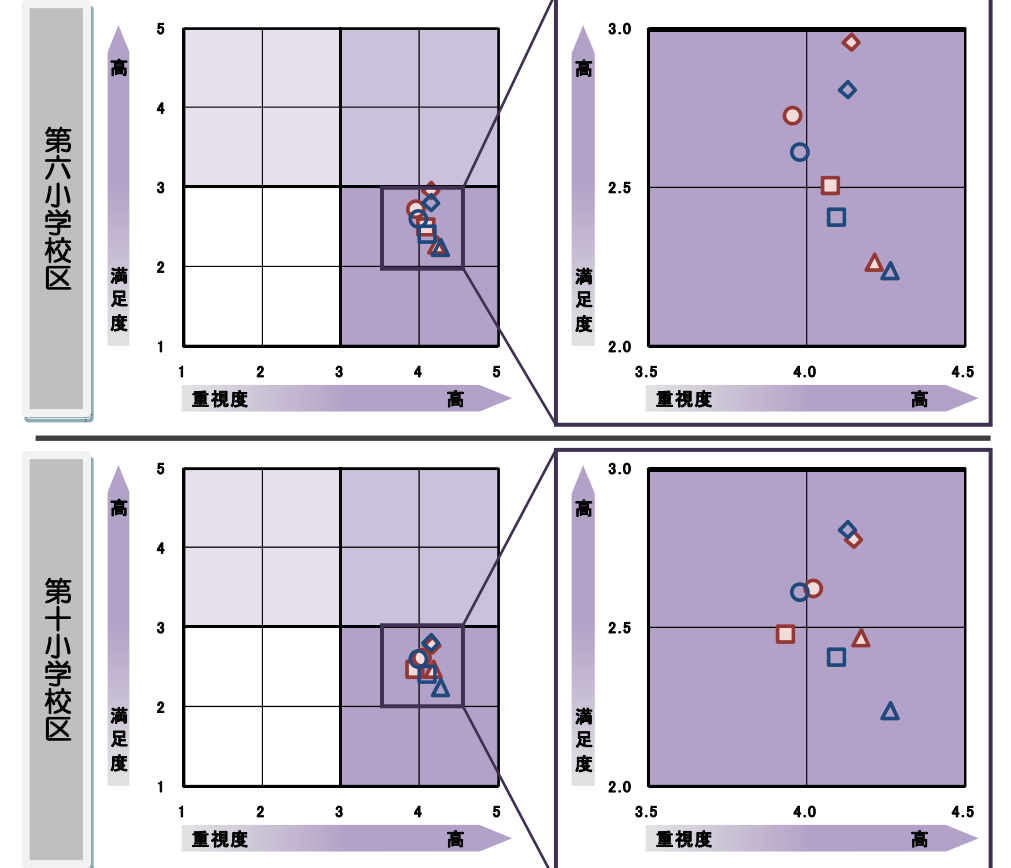
道路・交通基盤

- 地域   □ 市全域
- 広域の交通を担う広い道路の充実
- 市内の交通を担う道路の充実
- ◆ 住宅地内の狭い道路の拡幅の推進
- ▲ 誰もが散策を楽しめる道の形成
- +
- ×
- \*



安全・安心

- 地域   □ 市全域
- 火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進
- 個々の建物の不燃化・耐震化の促進
- ◆ 防災公園や、避難場所の充実
- ▲ 緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良





### 3. 地域の課題と考えられるまちづくりの方向性

#### 土地利用に関する課題と考えられるまちづくりの方向性

##### ■『豊かな緑の保全』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (4.29/市平均 4.26)</li> <li>満足度 (3.17/市平均 3.29)</li> <li>自由回答では、「緑を保全して欲しい」、「魅力は緑が豊かなことである」、「むやみな開発は望ましくない」といった意見が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1種低層住居専用地域<sup>*1</sup>の全域にわたり、<b>生産緑地<sup>**2</sup>が集約して分布</b>しています。</li> <li>生産緑地は、<b>緑豊かな住宅地を形成する重要な要素</b>です。</li> <li>生産緑地は、<b>宅地転用で年々減少傾向</b>にあります。</li> </ul>

##### 考察

- 集約して分布する生産緑地は、本地域の緑を構成する要素であり「豊かな緑の保全」が求められていますが、**今後の買取申請を行うことが可能となる時期<sup>\*\*2</sup>をきっかけに敷地が分割され、宅地開発による小規模宅地が発生し、緑が減少する可能性**があります。
- このため、**緑豊かでゆとりある住環境を維持するための取り組みが必要**です。

##### ■『落ち着いたある住宅地の保全』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (4.01/市平均 4.00)</li> <li>満足度 (3.22/市平均 3.19)</li> <li>自由回答では、「住宅が増えることで、農地や緑が無くなるのはよくない」といった意見が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1種低層住居専用地域の<b>戸建住宅比は8割を超え、落ち着いたある住環境を形成</b>しています。</li> <li>市内の住宅の内、新耐震基準制定（昭和56年）より前に建築された住宅は約2割と<b>耐震性に問題</b>があります。</li> </ul>

##### 考察

- 「落ち着いたある住宅地の保全」に加え、防災の視点から「個々の建物の不燃化・耐震化の促進」が求められていますが、第1種低層住居専用地域内には**古く、耐火性の低い建物が多く分布しており、地震による倒壊、火災延焼による被害の拡大が懸念**されます。
- このため、**落ち着いたある住環境を維持しつつ、災害に強い建物への更新を促進することが必要**です。

##### ■『生活に根差した商業地(商店街)の確保』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (3.71/市平均 3.77)</li> <li>満足度 (2.52/市平均 2.46)</li> <li>自由回答では、国分寺駅北口商店街の活性化や光町での商業の充実といった意見が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の<b>商業店舗数は年々減少傾向</b>にあります。</li> <li><b>恋ヶ窪駅周辺は日常生活の利便性を高める「生活拠点」に位置付けられるもまちづくりに関連する計画は未策定</b>です。</li> <li>国3・2・8号線の整備が進められています。</li> </ul>

##### 考察

- 「生活に根差した商業地の確保」に加え、「駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進」、「近くに職場のある住環境の形成」も求められていますが、その意向の背景は国分寺駅周辺での再開発の促進にあります。本地域の生活拠点は商業がやや集積している恋ヶ窪駅周辺が位置づけられるため、大規模な商業施設やオフィスの立地の促進は、国分寺駅、西国分寺駅等の主要駅周辺において取組みます。
- このため、**本地域では、生活拠点として位置付けられている恋ヶ窪駅周辺や、沿道まちづくりが進められている国3・2・8号線沿線にて生活の利便性を高める商業地の確保が必要**です。

市民意識調査において、重視度が高い上位の項目を対象に整理

##### ■考えられるまちづくりの方向性

###### 『豊かな緑の保全』への対策

【対象】 生産緑地がまとまって分布するエリア

- ゆとりある住環境を維持するための土地の細分化の抑制
- 農地や緑の減少を抑制するまちづくりの推進

###### 『豊かな緑の保全』への対策

【対象】 生産緑地がまとまって分布するエリア

- ゆとりある住環境を維持するための土地の細分化の抑制
- 農地や緑の減少を抑制するまちづくりの推進

###### 『落ち着いたある住宅地の保全』への対策

【対象】 第1種低層住居専用地域指定地区

- 落ち着いたある住環境への更新を促す土地利用規制の適用
- 耐火性の高い建物へと建替の促進

###### 『生活に根差した商業地の確保』への対策

【対象】 国3・2・8号線沿道地区

- 飲食・物販機能、生活サービス機能など、地域の生活の利便性を高める沿道利用の促進
- ※用途地域の第1種住居地域への変更、地区計画の策定等のまちづくりを推進中

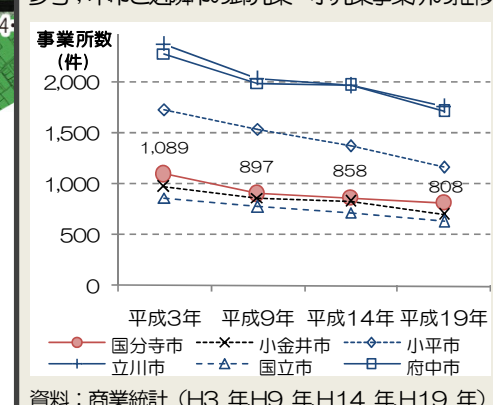
###### 『生活に根差した商業地の確保』への対策

【対象】 恋ヶ窪駅周辺地区

- 市北部の生活拠点としての恋ヶ窪駅周辺でのまちづくりの推進



参考：本市と近隣市の卸売業・小売業事業所の推移



凡例	
用途地域	第1種低層住居専用地域 (Green)
	第2種低層住居専用地域 (Light Green)
	第1種中高層住居専用地域 (Yellow-Green)
	第2種中高層住居専用地域 (Yellow)
	第1種住居地域 (Yellow-Orange)
	第2種住居地域 (Orange)
	準住居地域 (Light Orange)
	近隣商業地域 (Pink)
	商業地域 (Red)
	準工業地域 (Light Purple)
	工業地域 (Blue)
生産緑地	(Light Green)
都市計画道路(整備済)	(Solid Line)
都市計画道路(未整備)	(Dashed Line)

※1：第1種低層住居専用地域とは、市街地の土地利用の方向性を定める用途地域の一つで、低層住宅に係る良好な住居の環境を保護するため定める地域。

※2：生産緑地とは、良好な都市環境の形成をはかるため、500㎡以上の農地で、農業と調和した都市環境の保全など良好な生活環境の確保に相当の効用があり、かつ、公共施設などの土地として適している一団の区域を指定している。市内の生産緑地の多くは新制度となった平成4年に指定され、指定から30年を迎える平成34年には、所有者は市に対して買取の申請を行うことが可能となります。



道路・交通基盤に関する課題と考えられるまちづくりの方向性

『安全に通行できる自転車道の形成』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (4.33/市平均 4.27)</li> <li>満足度 (1.86/市平均 1.86)</li> <li>自由回答では、自転車で走るのが怖い道が多く、自転車道の整備を望む意見が多く見られました (特に十小)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道が東西に2路線、南北に1路線、歩道も設置されていますが、狭隘となっています。</li> <li>本地域では、幹線道路(都市計画道路)の整備は進んでおらず、<u>自転車が安全に通行できる空間はありません。</u></li> </ul>

**考察**

- 「自転車の安全な通行路の確保」が求められていますが、既設道路の幅員は十分ではなく、自転車通行帯を確保することは困難です。
- このため、未整備都市計画道路の整備を念頭に自転車ネットワークの形成、道路幅員構成の再配分について検討することが必要です。

『安心して歩ける歩行空間の形成』

『誰もが散策を楽しめる道の形成』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<p><b>安心して歩ける歩行空間の形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (4.24/市平均 4.34)</li> <li>満足度 (2.05/市平均 2.00)</li> </ul> <p><b>誰もが散策を楽しめる道の形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (3.79/市平均 3.87)</li> <li>満足度 (2.48/市平均 2.60)</li> <li>自由回答では、安心して歩くことのできる歩行空間の整備を望む意見が多く見られました。(特に十小)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道が東西に2路線、南北に1路線、歩道も設置されていますが、狭隘となっています。</li> <li>本地域では、幹線道路(都市計画道路)の整備は進んでおらず、<u>歩行者が安全に通行できる歩道が十分ではありません。</u></li> </ul>

**考察**

- 「安心して歩ける歩行空間の形成」が求められるものの、既設道路の幅員は狭隘で、安全に安心して歩くことのできる道路はありません。
- このため、都市計画道路の整備によるゆとりある歩道の設置が必要です。また、「誰もが散策を楽しめる道の形成」も求められ、都市計画道路だけでなく用水路等の活用も必要です。

『地域と地域を結ぶ公共交通の充実』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (3.78/市平均 3.78)</li> <li>満足度 (2.55/市平均 2.62)</li> <li>自由回答では、ぶんバスや路線バスの路線や本数を増やして欲しいという意見が多く見られました (特に六小)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物先として、やや国立駅周辺地区への依存が強い傾向にあります。</li> <li>民間バスは国分寺駅、国立駅方面へ、ぶんバスは西国分寺駅方面へと繋がっています。</li> </ul>

**考察**

- 地域内のバス路線は、市内の主要駅に向かってのものの、地域住民からは運行本数や路線の拡大を望む意見が多く見られます。
- このため、路線バスとの連携を含めたバス路線の更なる充実に向けた検討が必要です。

『住宅地内の狭い道路の拡幅の推進』に関する市民意向と地域の現状

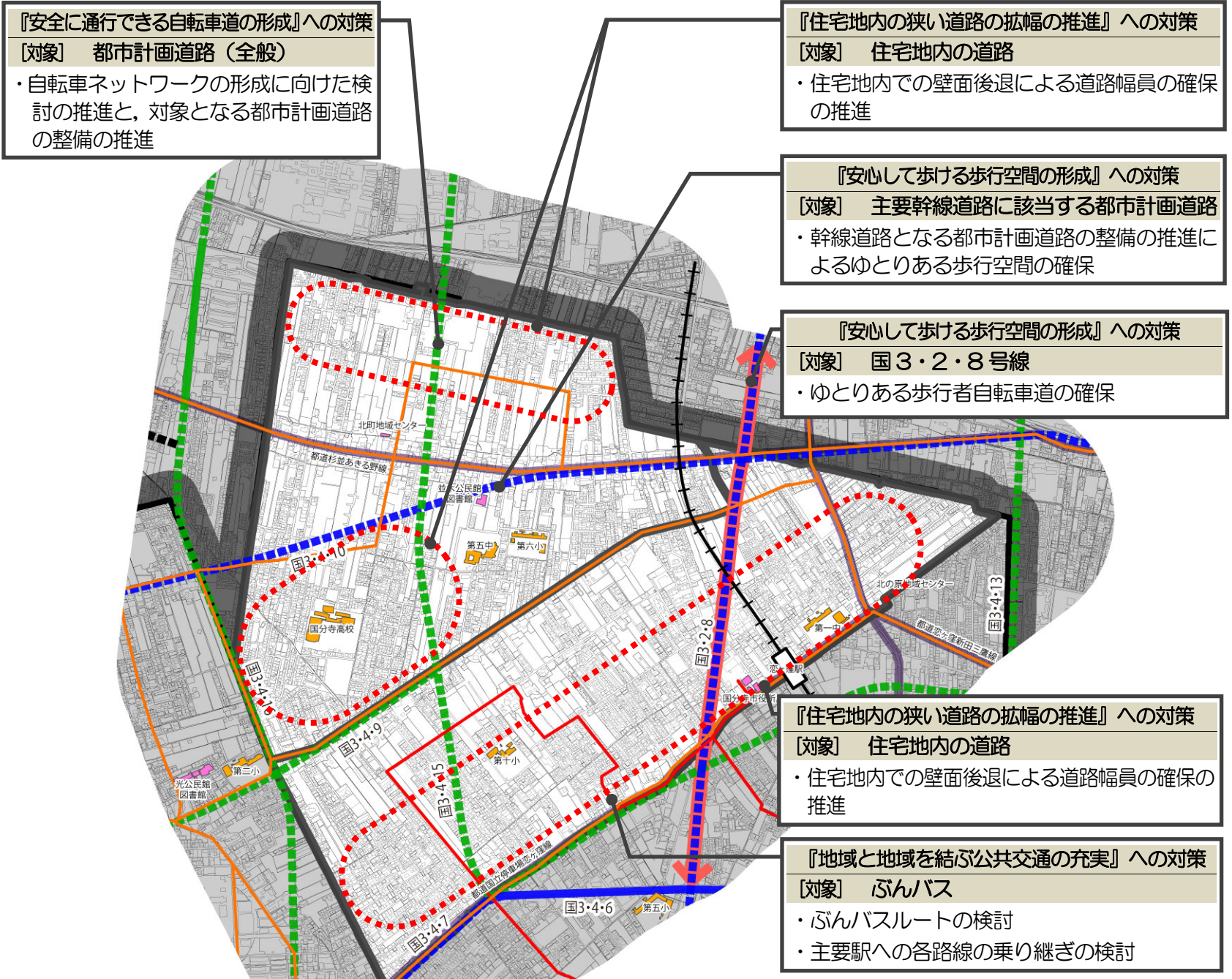
市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (3.72/市平均 3.77)</li> <li>満足度 (2.34/市平均 2.29)</li> <li>自由回答では、地区内の道路の歩車を分離して欲しいという意見が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地内の道路は、農道であった道を基礎としているため、<u>6m未満の狭隘道路は約7割を占めています。</u></li> </ul>

**考察**

- 道路の歩車分離が求められているものの、地域内は宅地化が進んでいるエリアも多く、住宅地内で路線全体を対象とした道路拡幅は困難です。
- このため、幹線道路となる都市計画道路の整備、長期的視野に立った住宅地内での段階的な道路拡幅を進めていくことが必要です。

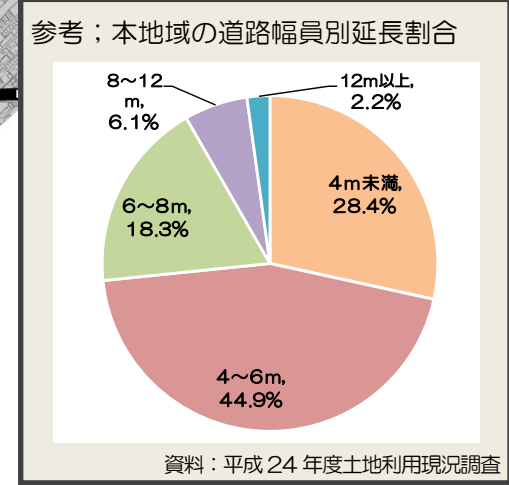
市民意識調査において、重視度が高い上位の項目を対象に整理

考えられるまちづくりの方向性



凡例

都道	—	
都市計画道路	主要幹線道路	—
	整備済	—
	未整備	.....
地区幹線道路	整備済	—
	未整備	.....
第三次事業化計画(優先整備路線)	↔	
バス路線	一般路線バス	—
	ぶんバス	—



参考：本地域を走る路線バス・ぶんバスの先行

路線	便名	発地	経由地(駅)	着地
立川バス	国22	二ツ塚	—	国立駅北口
	国23	二ツ塚	恋ヶ窪駅	国立駅北口
	国24	国立駅北口	—	北町公園
	国25	上水営業所	恋ヶ窪駅	国立駅北口
	国26	上水営業所	砂川七番駅	国立駅北口
	寺50	上水営業所	砂川七番駅	国分寺駅北口
ぶんバス	日吉ルート	西国分寺駅	—	西国分寺駅



緑・景観形成に関する課題と考えられるまちづくりの方向性

『自然の豊かさを感じる空間の形成』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (4.01/市平均 3.93)</li> <li>満足度 (2.87/市平均 3.01)</li> <li>自由回答では、緑を保全して欲しい、緑豊かなまちにして欲しいという意見が多く見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道杉並あきる野線沿線、第十小学校北に多くの生産緑地がまとまって分布しています。</li> <li>生産緑地は、宅地転用で年々減少傾向にあります。</li> </ul>

考察

- 生産緑地と住宅が一体となった景観は、本市の景観特性のひとつとなっており、「自然の豊かさを感じる空間の形成」に大きく寄与しています。
- このため、住宅地における生産緑地については、減少を抑制していくことが必要です。

『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』

『大規模な公園や緑地の充実』

に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<p><b>『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (3.77/市平均 3.72)</li> <li>満足度 (2.84/市平均 2.89)</li> </ul> <p><b>『大規模な公園や緑地の充実』</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (3.77/市平均 3.79)</li> <li>満足度 (2.83/市平均 2.96)</li> <li>自由回答では、子供の遊び場や、一休みできる公園の整備を望む意見が多く見られました。また、大きな木がたくさんある大きな公園、また、サッカー場等が必要など特徴的公園も求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市公園※1は、窪東公園・北町公園(一部)のみでその他の公園は未整備であり、現状では公園誘致圏空白地域※2となっている地域が大半を占めています。</li> <li>ちびっこ公園等の小規模公園・緑地が存在しますが、その土地は借地である場合が多く、恒久性は担保されていません。</li> </ul>

考察

- 「小規模な公園や緑地の市内各所への確保」が求められていますが、地域内の都市公園は未整備です。また同様に「大規模な公園や緑地の充実」も求められていますが、近隣公園の北町公園・戸倉公園は未整備です。
- このため、住民ニーズを踏まえつつ、未整備都市公園の整備が必要です。また、都市計画決定されている都市公園が全て整備された場合でも、公園誘致圏空白地域は残存するため、公園の配置について検討することが必要です。

『魅力的な景観づくりの推進』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (3.70/市平均 3.73)</li> <li>満足度 (2.63/市平均 2.66)</li> <li>自由回答では、砂川用水の水が流れていない、寺や五重の塔の再建、樹木の街として街路樹の充実などの意見が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財を保管している社寺、玉川上水・砂川用水があり、これらは地域を特徴づける地域固有の資源です。</li> <li>道路は狭く、街路樹などを整備する空間はありません。</li> </ul>

考察

- 「魅力的な景観づくりの推進」に加え、「歴史やふるさを感じる風景の保全」も求められている中で、社寺で保存されている文化財は地域の歴史にふれることのできる大切な資源です。また、玉川上水・砂川用水は、河川の少ない本市にとって貴重な水辺となっています。
- このため、地域の貴重な資源を有効活用した景観まちづくりが必要です。
- また、農地の転用などにより緑が減少していく中で、植え木の街として街路樹などの新たな緑の整備を求める声もあり、都市計画道路の整備とともに、街路樹による並木道づくりも必要です。

※1：都市公園とは、都市公園法に基づき地方公共団体または国が設置する公園・緑地。

※2：公園誘致圏空白地域とは、公園の規模に応じて設定されている各公園が対象とする誘致圏の範囲の線を引いた際、どの公園誘致圏にも当てはまらない地域。

市民意識調査において、重視度が高い上位の項目を対象に整理

考えられるまちづくりの方向性

『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』への対策

【対象】 未整備都市計画公園（近隣公園）

- 未整備都市計画公園の整備推進

『魅力的な景観づくりの推進』への対策

【対象】 文化財を有する社寺等

- 社寺を活かした歴史やふるさを感じることでできるまちづくりの推進

『自然の豊かさを感じる空間の形成』への対策

【対象】 生産緑地地区

- 生産緑地等の農地の減少を抑制する取り組みを進め、市の特色ある自然の豊かさを感じることでできる景観の保全

『魅力的な景観づくりの推進』への対策

【対象】 玉川上水・砂川用水

- 既存の水辺である玉川上水・砂川用水を生かした水と緑のネットワークの形成

『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』への対策

【対象】 公園空白地域

- 既存のちびっこ公園、緑地、生産緑地などを活用した都市計画公園の再配置の検討

『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』への対策

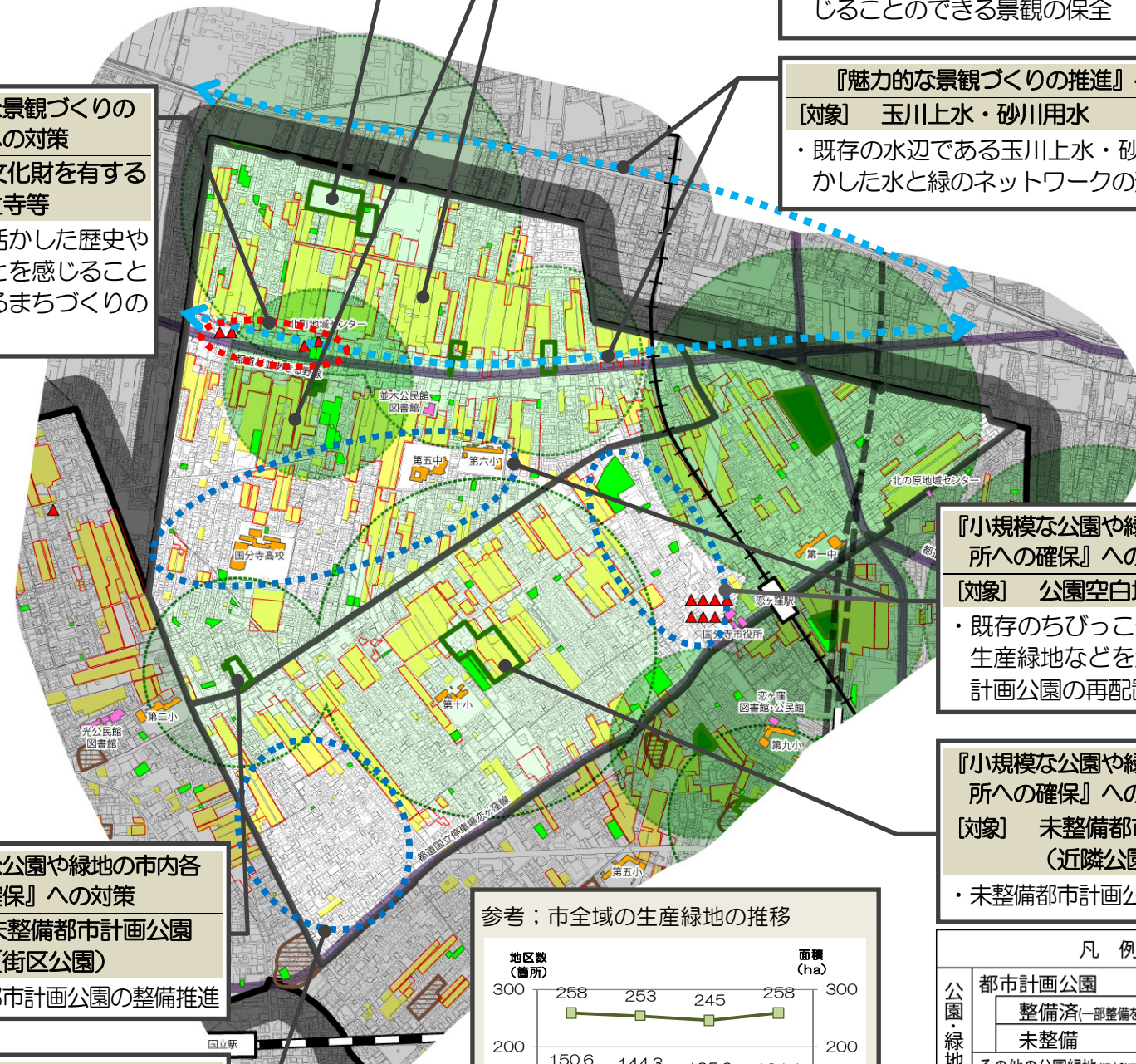
【対象】 未整備都市計画公園（街区公園）

- 未整備都市計画公園の整備推進

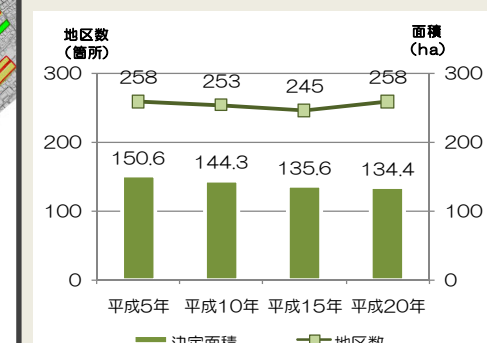
『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』への対策

【対象】 公園空白地域

- 既存のちびっこ公園、緑地、生産緑地などを活用した都市計画公園の再配置の検討



参考：市全域の生産緑地の推移



凡例	
公園	都市計画公園
	整備済(一部整備を含む)
公園緑地	未整備
	その他の公園緑地(都市計画基礎調査による)
公園誘致圏	整備済(一部整備を含む)
	未整備
	農地(都市計画基礎調査による)
	生産緑地地区
	文化財等
	埋蔵文化財等



『緊急車両が通行できるような狭い道路を改良』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (4.19/市平均 4.26)</li> <li>満足度 (2.36/市平均 2.24)</li> <li>自由意見では、直接的な意見はないものの幹線道路を一本入ると道路が狭く、T字路が多いという意見が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区の南部の住宅が密集する区域は、消火活動がやや困難(ランク3)となっています。</li> <li>富士本1丁目は、消火活動がやや困難な地区と、木造建築物の割合がやや高い地区が重なっています。</li> </ul>

考察

・木造の戸建て住宅が密集し、かつ住宅地内の道路幅員も十分ではないため、震災時の消火活動がやや困難とされており、災害発生時の消火活動や救急救命活動に支障をきたす可能性があります。こうした地域の実情を背景に「緊急車両が通行できるような狭い道路を改良」を強く求められています。

・このため、主な生活道路を対象に緊急車両の通行を想定した道路整備が必要です。

『防災公園や、避難場所の充実』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (4.14/市平均 4.13)</li> <li>満足度 (2.87/市平均 2.81)</li> <li>自由回答では、防災面の整備が進んでいると言われているが不十分であるという意見が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策本部に国分寺市役所を位置付けています。</li> <li>地区内の全ての市立小・中学校、国分寺高校は、地区防災センター・避難場所に位置づけられています。</li> </ul>

考察

・市役所を災害対策本部に位置づけていますが、隣接する市役所通りは幅員が狭くなっています。市役所通りの市役所周辺は堅牢な建築物が多く、道路幅員は困難です。一方、「防災公園や避難場所の充実」が求められていますが、地区防災センター・避難場所は地区内で比較的均等に確保されています。

・このため、対策災害対策本部や地区防災センター・避難場所が有効に機能するよう、施設や周辺道路での対策が必要です。

『火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (4.01/市平均 4.09)</li> <li>満足度 (2.49/市平均 2.41)</li> <li>自由意見では、直接的な意見はないものの安全性の面から道路の幅員を望む意見が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区内の緊急輸送道路は、<u>五日市街道と府中街道、市役所通りのみ</u>です。</li> <li>広幅員の国3・2・8号線の整備が進んでいます。</li> </ul>

考察

・「火災の延焼を防ぐ広い道路の整備」が求められていますが、都市計画道路の整備が進んでいないことが背景にあります。特に、災害対策本部・地区防災センター・避難場所近くの道路は狭く道路閉塞の可能性があります。

・このため、防災関連施設に近接する都市計画道路の優先的整備が必要です。

『個々の建物の不燃化・耐震化の促進』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>重視度 (3.99/市平均 3.98)</li> <li>満足度 (2.67/市平均 2.61)</li> <li>自由意見では、直接的な意見はないものの防災面等の懸念として空き家が増えているという意見が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>木造建築物の割合がやや高くなっています</u>。(市平均値より高い)</li> <li>第1種低層住居専用地域の戸建住宅は85%となっています。</li> <li>市内の住宅の内、新耐震基準制定(昭和56年)より前に建築された住宅は約2割です。</li> </ul>

考察

・個々の建物の不燃化・耐震化が強く求められていますが、木造住宅は、耐震性能・耐火性能が高くないため、地震による倒壊、火災延焼による被害の拡大が懸念されます。

・このため、耐火性等の高い建物への更新を促していくことが必要です。

考えられるまちづくりの方向性

『緊急車両が通行できるような狭い道路を改良』への対策  
 [対象] 消火活動困難度がやや高い地区  
 ・住宅内道路の道路幅員の確保(道路拡幅、壁面後退等)など、災害に強いまちづくりの推進

『火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進』への対策  
 『個々の建物の不燃化・耐震化の促進』への対策  
 [対象] 地区防災センターに近接する都市計画道路  
 ・地区防災センターに近接する都市計画道路の整備  
 ・火災延焼による被害抑止のため、都市計画道路等による広い道路整備の推進  
 ・道路沿道における耐火性の高い建築物への更新の促進

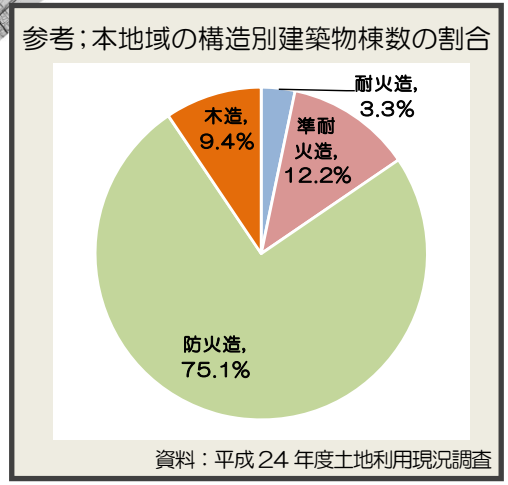
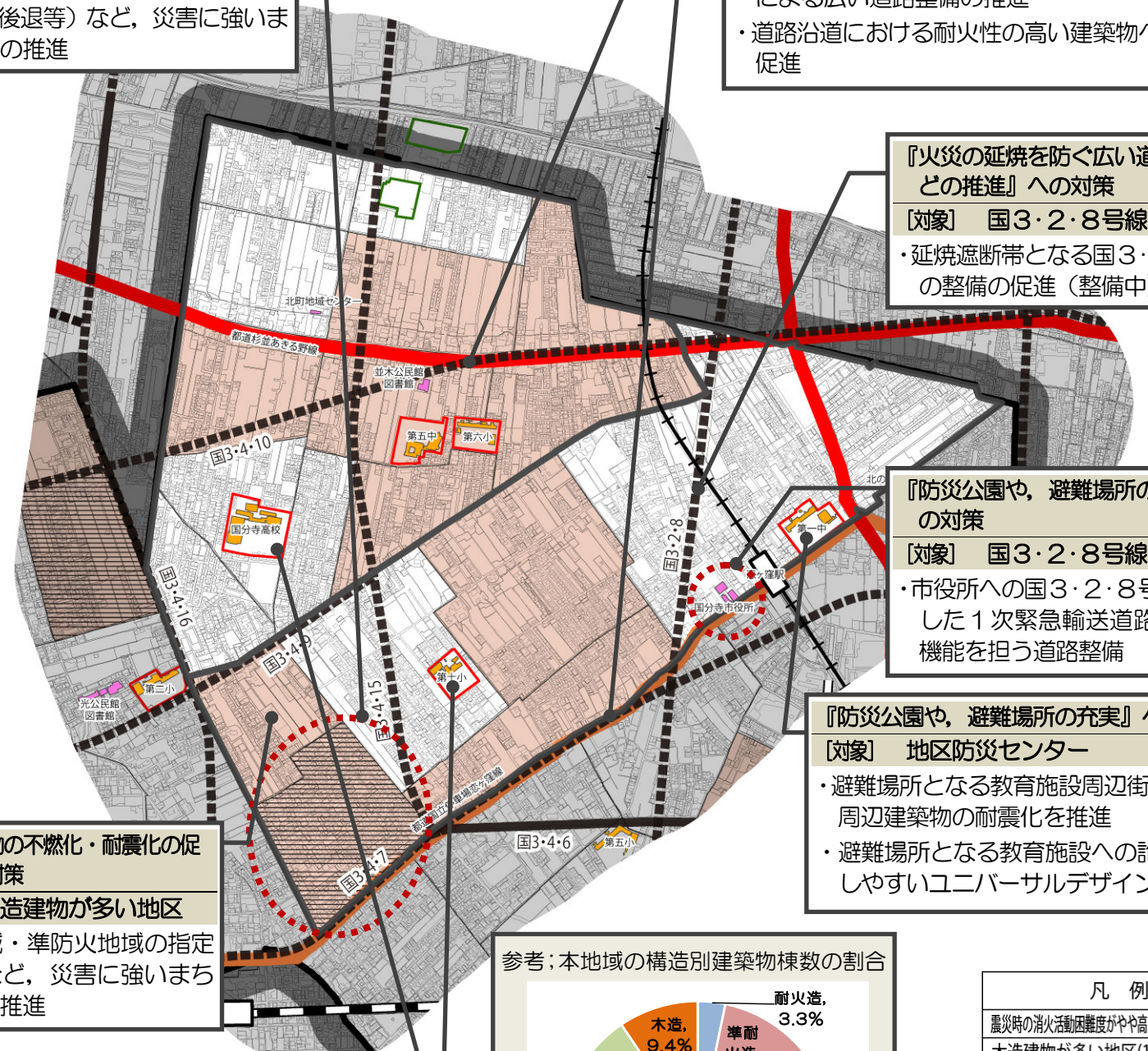
『火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進』への対策  
 [対象] 国3・2・8号線  
 ・延焼遮断帯となる国3・2・8号線の整備の促進(整備中)

『防災公園や、避難場所の充実』への対策  
 [対象] 国3・2・8号線  
 ・市役所への国3・2・8号線を活用した1次緊急輸送道路としての機能を担う道路整備

『防災公園や、避難場所の充実』への対策  
 [対象] 地区防災センター  
 ・避難場所となる教育施設周辺街路の拡幅、周辺建築物の耐震化を推進  
 ・避難場所となる教育施設への誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの導入

『個々の建物の不燃化・耐震化の促進』への対策  
 [対象] 木造建物が多い地区  
 ・防火地域・準防火地域の指定を行うなど、災害に強いまちづくりの推進

『防災公園や、避難場所の充実』への対策  
 [対象] 地区防災センター(全施設)  
 ・避難場所となる教育施設周辺街路の拡幅、周辺建築物の耐震化を推進  
 ・避難場所となる教育施設への誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの導入



凡例

震災時の消火活動困難度がやや高い地区	■
木造建物が多い地区(10%)	■
地区防災センター	□
広域避難場所	□
緊急避難場所	□
隣接市の避難場所	□
緊急輸送道路(1次)	—
緊急輸送道路(2次)	—
緊急輸送道路(3次)	—
整備済	—
未整備	.....